

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	古河市家庭教育支援チーム (呼称:NPO 法人 ネットワークサポート ^{おやがく} 親楽) URL: https://www.city.ibaraki-koga.lg.jp/soshiki/syogaigakusyu/katei/19552.html
②活動拠点	主に古河市内
③活動範囲	古河市内全域
④組織体制	<u>38 人</u> 正会員 28 人 協力スタッフ 10 人
⑤活動開始年度	平成 21 年度 (2009 年 5 月 20 日 古河親楽ファシリテーターの会発足) 令和 2 年 (2021 年) NPO 法人化 (NPO 法人 ネットワークサポート親楽)
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 事務局長 櫻井 佐智子 (TEL) 090-1772-6861 (E-mail) csc_s_sakurai127@yahoo.co.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) L ☐ 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☒ その他(乳幼児から楽しめるコンサート及び古河市(家庭教育事業等)からの依頼)
②活動対象 (複数チェック可能)	☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☒ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容

【具体的な活動内容】

①子育てカフェ（令和4年度実施）

古河市生涯学習課からのファシリテーター(進行役)と託児依頼を受けて開催。活動一例として、前半(約 30 分)は親子で楽しめる遊びの時間、後半(約 1 時間)は託児スタッフが託児を行い、進行スタッフが保護者同士での情報交換の進行を行ったり、講師による講話等も行っている。



②マミーズサロン

市内公民館にて月1回程度の開催

気軽に集える場として「マミーズサロン」を開始。月 1 回開催中。季節の制作やフリートークの日やテーマを設けたお話し会、リトミック、クリスマス会など。



③マミーズサロンオンライン交流会

随時開催

オンラインでの子育てネットワークづくりの場の提供を行っている。参加者からは、「久しぶりにマスクをせずに顔を見てお話しできました」「家族以外の人と話せてよかった」等の感想がある。講座の内容は、お家で出来る遊びの紹介や、リトミック、保護者同士の情報交換の時間等で組み立てている。参加者を楽しませるために、スタッフは画面の背景や飾りを工夫し、季節のイベント等を取り入れながら、家にいても季節を感じてもらえる工夫もしている。





④子育て中のパパ集まれ

市内公民館等にて月1回程度の開催

この講座が初めて子どもと二人で出かける場になり、父親の育児参加のきっかけづくりになっている。

活動一例として、前半(約 30 分)は親子で楽しめる遊びの時間、後半(約 1 時間)は託児スタッフが託児を行い、進行スタッフが保護者同士での情報交換の進行を行う。夫として、父親としてこんなときどうしてる? 等、情報交換を行っている。仕事の都合等で全員揃えない日もあるが、講座の他にも、参加者が企画しバーベキューや芋ほりを行うなど、父親同士のネットワークづくりの輪が広がっている。





⑤孫育て講座(令和4年度まで実施)

棒田明子氏(NPO 法人 孫育て・ニッポン)の孫育ての講座の開催のほか、新聞紙を使った遊びや、簡単に折れる馴染みのキャラクター折り紙を作ったり、孫遊びの紹介や、孫育ての情報交換を行ったりしている。これから孫が生まれる予定の方も参加している。



⑥0歳から聴けるわくわくコンサート

年1～2回開催

子連れで気軽に音楽を楽しんでもらうことを目的に開催。

楽曲は季節ごとの内容で構成し、地元の太鼓塾(和太鼓チーム)、楽団、マリンバ、オーボエ、フルート演奏等の楽器の生演奏を聴いたり、体操のお兄さんと一緒に歌ったり踊ったりと、会場一体となれる楽しいコンサートを開催している。

次回を楽しみにする声もあり、令和7年度の開催で12回目を迎える。





⑦野菜収穫、芋苗植え、芋ほり体験

年2回程度開催

食育の一環として、地域の農家の協力を得て、皆でじゃがいも、さつまいもの苗植えから収穫の体験を開催。にんじん、とうもろこしなどの収穫体験を行っている。

また、参加者が自分たちで種まきから行い、夏野菜を育てて収穫する農園づくり体験も行った。

親子で、土の感触を楽しみながら体験できる好評企画となっている。



⑧おちゃっこクラブ

月1回程度開催

コロナ禍で人とのつながりが減るなか、令和4年度から開催している。

講座内容は、シニア世代のネットワークづくりのみならず、「地域での子育て」を共有し、地域の子育てネットワークをつなげていく目的で開催している。

三世代で、クリスマスツリー製作、歌声ひろば、シニアフィットネス講師による健康寿命アップ講座などを開催。受講して終わりではなく、参加者同士でのお話会も行っている。お話会は各グループで、進行役のファシリテーター(ス

タッフ)が介入し安心して話ができる空間づくりを行っている。
三世代での季節の製作では各世代から久しぶりにパパママ世代、祖父母世代と交流ができ楽しかった、小さい子がいると元気が出ます！という声もある。



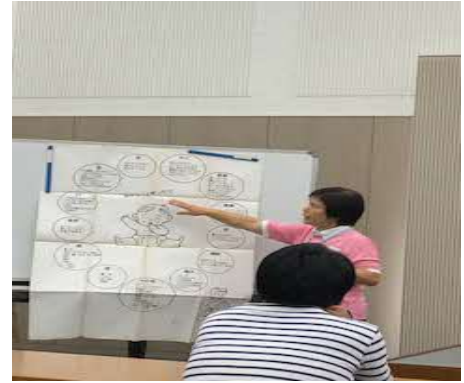
⑨スタッフ研修会

ファシリテートの練習会のほか、託児ボランティア養成講座の開催や、日本赤十字社「幼児安全法講習会」の受講、託児時のスタッフの注意点、講座参加者への寄り添い方等の研修を定期的に行っている。

各講座の終了後には、活動のふりかえりを行い、今後に向けての意見交換を行っている。

また、月1回程度「聴き方伝え方の講座」も開催している。





⑩Zoom 実践講座・Zoom デトーク♪

- ・古河市民大学「Zoom 実践講座」
- ・古河市公民館講座「Zoom 実践講座」
- ・参加者対象のサポート事業として「Zoom デトーク」を月2回程度開催

⑪その他

随時開催

○古河市教育委員会 生涯学習課からの依頼を受け開催しているもの

- ・古河市内幼稚園、小中学校家庭教育学級等での※「親楽ブック」活用の学習会

※「親楽ブック」とは、古河市教育委員会が作成した、子どもへの理解や接し方、親子のコミュニケーションなど、子育てに必要な知識や技術について、保護者同士が身近なエピソードやワークを通じて、話し合いながら主体的に学ぶことを目的に開発された、参加型（ワークショップ型）の学習プログラム

- ・就学時健康診断時の「親楽ブック」活用の学習会
- ・中高生・乳幼児ふれあい交流事業における「親楽ブック」活用の学習会
- ・ファシリテーター養成講座 講師
- ・家庭教育学級担当者会議等における学習会の進行
- ・古河市民大学講座「子育てカフェ」における企画及び進行
- ・親子キャンプ（父親参加の家庭教育事業）における学習会
- ・初心者向けオンラインミーティングアプリ講座（デジタルデバイドの解消）講師

○古河市こども政策課からの依頼

- ・「こどもの意見表明事業」市内中学校でのファシリテーション

○古河市健康づくり課からの依頼

- ・乳がん、子宮がん、総合健診時の託児

	○茨城県教育庁生涯学習課からの依頼の事業 ・茨城県家庭教育推進員養成研修会スキルアップ研修会（オンデマンド配信）講師 ・乳幼児期のインターネットセーフティスキルアップ研修会 実践発表 ○その他 ・NPO 法人 セカンドリーグ主催「子育てフォーラム」活動発表 ・日本ファシリテーション協会「ファシリテーション・サミット 2021」ポスターセッション ○情報発信 法人独自で、公式ラインアカウントにて講座情報等のお知らせの配信 ・マミーズサロン ・子育て中のパパ集まれ！ ・おちゃっこクラブ ・Zoom デトーク♪
④活動の成果 （活動実績がある場合）	・参加型学習会が特徴で、自分の考えを伝えたり、他の人の意見を聞く場の提供を行ったり、子育てネットワークづくりのきっかけの場となっている。子どもが就学してからも、友人としての関係が繋がる人も多く、「自分と同じ考えの人がいて安心できた」、「子育てに前向きなヒントがもらえた」という声も多い ・ファシリテーターが入ることにより、より安心安全に参加できる空間づくりができ、情報交換の場の提供が行うことができ（無理な会話は求めず）、初めは緊張していた方も、最終日には「もっとお話ししたいです」などと好評。 ・自分と同じ考え、悩みを持つ人のほか、自分と異なる考え方を知る機会になり、子育ての手法を共有する場となっており、ネットワークづくりのきっかけの場となっている。茨城県家庭教育応援ナビの案内等も行い、情報提供を行っている。 ・託児付き講座では、保護者同士がゆっくりと交流することができ、「久しぶりに大人とゆっくり話すことができた」「否定されない時間が心地良かった」という声もあり、参加者同士の信頼関係を作りながらの子育てネットワークづくりができている。 ・単発講座で終わるのではなく、講座の回数を重ねることで参加者同士の輪を深める場となっている。 ・父親向け講座では、父親の子育て参加の機会の一つとなり、お話し会の中では、子育ての話、仕事のこと、趣味の話等々、父親同士の情報交換の場を提供している。 ・おちゃっこクラブや、Zoom デトークの参加者は、コロナ禍が落ち着いても運転免許を返納した後や介護等で自宅を離れる事ができない時でも人とつながれる安心感や、遠く離れた友人ともつながれる喜び等の声がある。 ・子育て世代を対象にした講座の開催と多世代交流講座の開催へつなげていきたい。

⑤活動財源 (複数チェック可能)	☐ 文部科学省補助事業(事業名:) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☒ 地方公共団体単独事業として実施 ☒ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☒ その他の支援により活動を実施 (古河市からの依頼を受けて開催)
------------------------------------	---